

広島県・広島市折半保証 市場公募債の発行に向けて

IR説明資料
ダイジェスト版

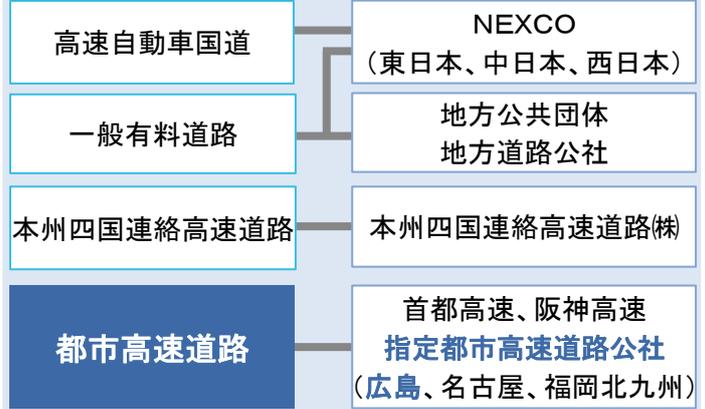
令和4年11月

■ 広島高速道路公社の事業概要

広島高速道路ネットワーク図



有料道路の種類と事業主体



設立団体(広島県・広島市)及び国との関係

- 法令の定めにより、運営上重要な事項については、設立団体である広島県・広島市及び国の承認等を受け事業を遂行

中期経営計画の取組みとSDGs

- 中期経営計画(2021年度-2024年度)における具体的な取組みを通じて、SDGsの達成に貢献できるよう、職員が社会への貢献を実感して自ら仕事に誇りを持ち、業務に取り組みます。

重点テーマ

- ①ネットワーク機能の強化 ②予防保全対策等の推進 ③災害対応力の強化 ④安全な走行 ⑤組織力の強化

具体的な
取組み



※ 中期経営計画については、広島高速道路公社ホームページでご覧いただけます。(URL: <https://www.h-exp.or.jp/project/>)

広島県・広島市折半保証付債券のためBIS規制上のリスク・ウェイト0%

BISリスク・ウェイト

広島高速道路債券は、地方道路公社法第28条の規定に基づく債務保証付き債券であり、BIS規制上のリスク・ウェイトは地方債と同様の0%となります。

債務保証の内容

広島県・広島市が、元金と利息のそれぞれ1/2を分担して保証し、主たる債務が履行遅滞となるとただちに広島県・広島市が履行義務を負うこととなります。

令和4年度広島高速道路債券(12月市場公募債)の概要

発行予定額	60億円程度(予定)
年限	10年債:30億円程度、20年債:30億円程度
償還方法	満期一括償還
資金の使途	道路建設資金及び長期借入金の借換資金(予定)
発行時期	令和4年12月22日(予定)
位置付け	金融商品取引法第2条第3号に該当する有価証券です
特徴	設立団体の債務保証(債券の元金の支払いの保証)を得て発行します
格付け	設立団体の債務保証付き債券であることから、格付けは取得していません
BIS リスク・ウェイト	BIS規制上のリスク・ウェイトは、地方公共団体から債務保証を得るため、地方債と同様に0%です

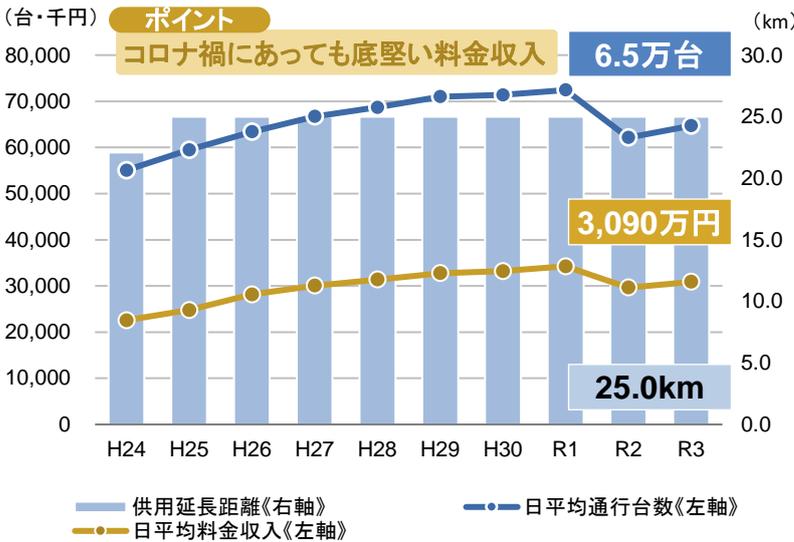
発行
実績

平成19年度から、毎年度継続的に発行

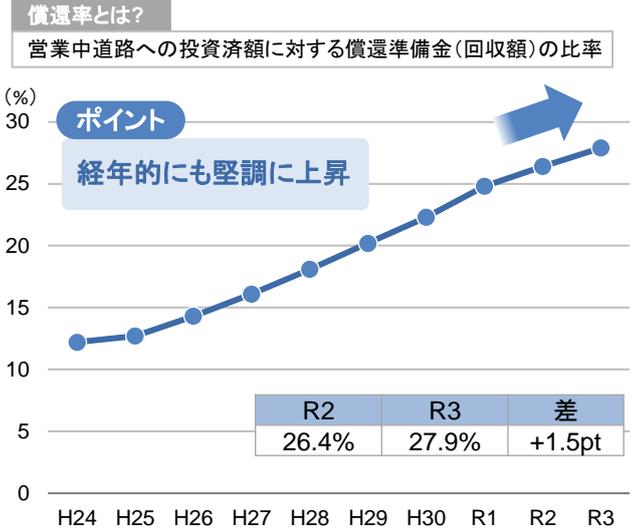
回号	発行日	発行額	年限	表面利率	発行価格	スプレッド
第6回	H25.2.28	100億円	10年	0.791%	100円	4.5bp
第7回	H26.2.28	100億円	10年	0.694%	100円	9bp
第8回	H27.2.28	90億円	10年	0.508%	100円	11bp
第9回	H28.2.29	100億円	10年	0.230%	100円	19bp
第10回	H29.2.28	60億円	10年	0.255%	100円	16.5bp
第11回	H29.2.28	50億円	20年	0.763%	100円	6.5bp
第12回	H30.2.22	80億円	10年	0.255%	100円	18bp
第13回	H30.2.22	100億円	20年	0.625%	100円	4bp
第14回	H31.2.21	100億円	10年	0.160%	100円	18bp
第15回	H31.2.21	100億円	20年	0.472%	100円	5bp
第16回	R1.12.16	60億円	10年	0.140%	100円	16.5bp
第17回	R1.12.16	60億円	20年	0.335%	100円	5bp
第18回	R2.2.25	50億円	10年	0.120%	100円	14.5bp
第19回	R2.2.25	50億円	20年	0.320%	100円	5.0bp
第20回	R3.2.19	90億円	10年	0.155%	100円	10.0bp
第21回	R3.2.19	50億円	15年	0.357%	100円	8.0bp
第22回	R3.2.19	90億円	20年	0.491%	100円	3.5bp
第23回	R4.2.21	50億円	10年	0.274%	100円	8.0bp
第24回	R4.2.21	70億円	15年	0.470%	100円	5.0bp
第25回	R4.2.21	90億円	20年	0.600%	100円	1.0bp

■広島高速道路公社の経営状況

通行台数と料金収入の推移



償還率の推移

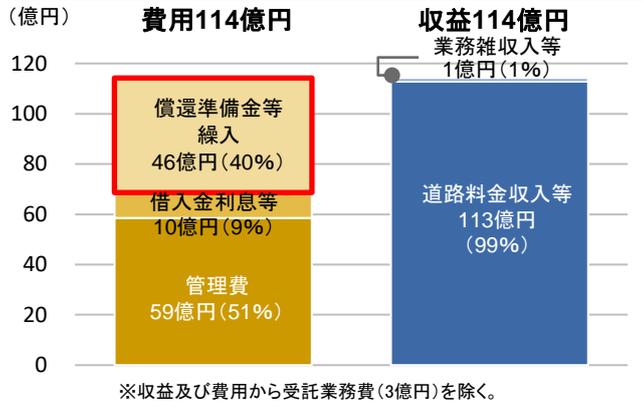


令和3年度の損益計算書

(単位:百万円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	R3年度	勘定科目	R3年度
事業資産管理費	5,458	業務収入	11,371
一般管理費	398	道路料金収入	11,278
業務外費用	1,014	業務雑収入	94
受託業務費	331	受託業務収入	331
小計	7,201	業務外収入	52
償還準備金等繰入	4,553	合計	11,754
合計	11,754		

令和3年度の営業中道路※の収支状況



収益の状況

- 収益の総額は117億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入であり全体の99%を占める
- お客様からの道路料金収入は、コロナ禍が続く中において、前年度比4.5億円(4.2%)の増加

費用の状況

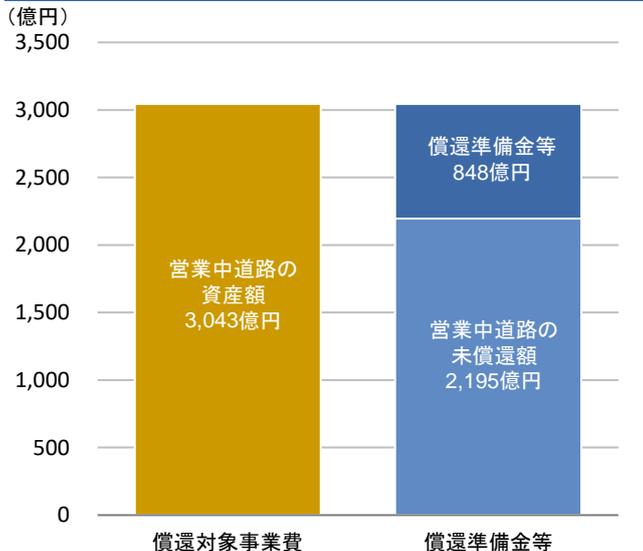
- 費用の総額は117億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した管理費59億、業務外費用(借入金利息など)10億円及び借入金の元金の返済に充てた償還準備金等繰入46億円

令和3年度の貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		負債及び資本の部	
勘定科目	R3年度	勘定科目	R3年度
流動資産	12,518	流動負債	26,723
固定資産	400,168	固定負債	214,156
営業中道路	304,279	広島高速道路債券	144,000
道路建設仮勘定	95,247	地方公共団体借入金	33,354
その他	641	政府借入金	34,812
繰延資産	435	民間借入金	1,630
		その他	360
		償還準備金等(特別法上の引当金等)	84,806
		償還準備金	71,896
		償還準備積立金	12,910
		基本金	87,302
		剰余金	134
資産合計	413,121	負債・資本 合計	413,121

令和3年度末の償還状況



資産の状況

- 資産の総額4,131億円のうち、お客様にご利用いただいている営業中道路の資産額は3,043億円で、資産全体の約74%を占める

負債及び資本の状況

- 負債及び資本の総額は4,131億円で、主なものは、道路債券を含む長期借入金2,138億円、元金の返済に充てた償還準備金等848億円、設立団体である広島県・広島市からの基本金873億円
- なお、建設に要した借入金については、お客様から頂く料金収入で償還